

令和7年度学校給食表彰（文部科学大臣表彰）について

1 表彰の趣旨

学校給食の普及とその充実を図るため、学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた学校、共同調理場、功績のあった個人及び団体を文部科学大臣が表彰します。

2 本県の被表彰者（令和7年度学校給食表彰（文部科学大臣表彰））

学校給食関係

〔個人〕 檜原市立白樺中学校 栄養教諭 山本 典子（やまもと のりこ）

平成3年から平成28年3月まで学校栄養職員として、平成28年4月からは栄養教諭として、安全安心で魅力ある学校給食の実施と、学校給食を活用した食に関する指導について学校教育活動全体を通して継続的・組織的な取組とするために中核となり取り組んできた。檜原市の学校給食においては、地域の生産者や関係機関との連携により、地場産物を積極的に活用し、郷土料理や行事食を実施する等、教材となる学校給食の実施に係るリーダー的役割を果たしている。

令和5年度及び6年度には文部科学省委託事業「食に関する健康課題対策支援事業」の実践校として、保護者及び教職員等と連携し生徒の個別的な相談指導に熱心に取り組み、その成果を県内に広く普及した。

また、令和4年度には奈良県教育委員会発行の手引書「学校給食ハンドブック」の作成委員として尽力するなど、県内の栄養教諭等のスキルアップに貢献している。

令和5年度には、第64回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会（鳥取県大会）において実践発表を行い、保護者、教職員及び学校給食関係者と連携を図り、安全安心なアレルギー対応についての実践を全国に発信した。